

船橋市の地図資料



1. 地形図

国土地理院発行の地形図

2万5千分の1	大正8年から
2万分の1	明治期
正式2万分の1	明治期
1万分の1	大正7年～平成17年

『明治13年～19年迅速測図二万分一千葉県 1～3巻』

参謀本部陸軍部測量局／編著 昭和礼文社 1977年
明治期の正式測図に先立って参謀本部陸軍部測量局によって製作された。明治13～19年刊行の迅速測図のうち千葉県部分の複製。船橋は第1巻に収録。

『正式二万分一地形図集成 東日本』 地図資料編纂会／編集 柏書房 2001年復刻

日本で最初に広範囲に作られた近代的測量学にもとづく地形図。明治18年に測量が開始された。東北地方および関東地方のものを中心に182図を原寸で収録する。

2. 住宅地図関係

ゼンリン住宅地図	ゼンリン／発行	昭和44年版～ ※欠年あり
船橋市住宅詳細図	三洋堂／発行	昭和39～42年版
船橋市明細図	新日本明細地図社／発行	昭和34年版のみ
船橋市動態図鑑	日本都市協会／発行	昭和30年版のみ
ブルーマップ 船橋市 ※住宅地図の上に公図に基づく公図界、公図番号、地番がブルーで記入されている地図	ゼンリン／発行	平成13年版～

3 . 古地図・絵図

郷土資料室では明治期以前に作成された古地図や絵図を貴重資料として所蔵しています。その一部を「船橋市デジタルミュージアム」で公開しています。

たとえばこんな古地図があります・・・

「下総之国図」

[元和3年] 手書・彩色

縦横2対1の用紙に下総国全体を収めているため、松戸以北がかなり圧縮されている。国境・郡境が黒線で引かれ、村名が円形の中に描かれている。

「下総国輿地全図」

清宮秀堅 弘化5年 木版

官林・官社・管寺・橋・旧郷名・古城・名所旧跡・古戦場・国郡の旧界・古道・牧まで細かく記入されている。

「[船橋九日市全図]」

島森謹吾 明治9年 手書・彩色

小字の名と番号、境界が描かれている。他に田・畑・宅地・山林・社寺・境内・墓地・他村地所・河川・溜・堤・境について詳細に描かれている。

「千葉県北総東葛飾郡沿浦之地図」

梅沢藤蔵 明治16年 手書・彩色

各村を淡彩で色分けし、字ごとに点線で分けしてあり、その各小字に字番号と字名が書かれている。道は朱線で描き、堤塘、河川、池沼、溝渠も詳しく書かれている。寺社名や主要な目標物も描かれている。

4 . その他の地図

『船橋小字地図』

滝口昭二／著 1994年

市内約1100の小字すべてを現在の地図上に位置と範囲を記入し、読み方から由来、その後の変化などを説明した資料。

『地形図』（地域研究資料1）

船橋市郷土資料館／編 1995年

市内の地理・地勢の変化の上で時代的な特徴を示す時期の地形図を編集した資料。

『ふなばしお散歩MAP』

船橋市経済部商工振興課／編

市内の観光スポットや寺社など、見どころの一覧と説明もあり、市内観光におすすめ。

※他にもたくさんの地図があります。お探しの際は郷土資料室へご相談ください。